

学習目標 12-15 歳

1 関係性

- 1.1 家族
- 1.2 友情、愛情、恋愛関係
- 1.3 寛容、包摶、尊重
- 1.4 長期的な責任ある関係と子育て

1.1 家族

キーアイデア：

- ・成長するということは、自分と他人に責任を持つようになることを意味します。

学習者ができるようになること：

- ▶成長に伴い、自分や他者に対する新たな責任を認識し、検討する。(知識)
- ▶成長に伴い、愛情が家族を超えて広がり、友人や仲間が特に重要になることを認識する。(態度)
- ▶新しい責任や関係性を評価し、引き受ける。(スキル)

キーアイデア：

- ・親／保護者と子どもの間には、特に思春期によく見られる葛藤や誤解がありますが、通常は解決可能です。

学習者ができるようになること：

- ▶親／保護者と子どもの間で起こりがちな葛藤や誤解をリストアップする。(知識)
- ▶親／保護者との対立や誤解を解決する方法を説明する。(知識)
- ▶親や保護者との対立や誤解は、思春期にはよくあることであり、通常は解決できることを認める。(態度)
- ▶親／保護者との葛藤や誤解を解決するための方策を考える。(スキル)

キーアイデア：

- ・愛情、協力、ジェンダー平等、相互の思いやり、相互尊重は、健康的な家族の機能と関係性のために重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶健康的な家族機能の特徴を理解する。(知識)
- ▶なぜこれらの特性が家族の健康的な機能にとって重要なのかを説明する。(態度)
- ▶健康的な家族機能への貢献度を評価する。(スキル)

1.2 友情、愛情、恋愛関係

キーアイデア：

- ・友だちはお互いにポジティブにもネガティブにも影響を与え合うことがあります。

学習者ができるようになること：

- ▶友だちがいかにお互いにポジティブな影響を与えたり、ネガティブな影響を与えたりするかを比較する。(知識)
- ▶友だちが自分の行動にポジティブな影響を与えたり、ネガティブな影響を与えたりすることを認識する。(態度)
- ▶友だちからネガティブな影響を受けないようにする方法を示す。(スキル)

キーアイデア：

- ・さまざまな種類の人間関係があります。

学習者ができるようになること：

- ▶さまざまの人間関係を見分ける。(知識)
- ▶恋愛、友情、夢中になるといった感情と、性的魅力を区別する。(知識)
- ▶親密な関係が性的なものになることもあることを議論する。(スキル)
- ▶さまざまな種類の人間関係に関連する感情を上手く扱う方法を示す。(スキル)

キーアイデア：

- ・恋愛関係は、力の不平等や差異（例：ジェンダー、年齢、経済的立場、社会的地位、健康状態）の影響を強く受けることがあります。

学習者ができるようになること：

- ▶力の不平等や差異が恋愛関係にどのようにネガティブな影響を与えるかを分析する。(知識)
- ▶ジェンダー規範やジェンダーステレオタイプが恋愛関係にどのような影響を与えるかを再認識する。(知識)
- ▶人間関係における力の不平等や差異が有害でありうることを認識する。(態度)
- ▶人間関係における力の平等やバランスに問題意識を持つ。(スキル)

1.3 寛容、包摶、尊重

キーアイデア：

- ・人との違い（例：HIV、妊娠や健康の状態、経済的立場、民族、人種、出自、ジェンダー、性的指向、ジェンダーアイデンティティ、その他の違い）を理由としたステイグマ（恥と罪の意識）や差別は、失礼なことであり、幸福を害し、人権侵害です。

学習者ができるようになること：

- ▶ステイグマ、差別、偏見、先入観、不寛容、排除の概念を再認識する。(知識)
- ▶ステイグマや差別が、人々の性と生殖に関する健康と権利に及ぼす影響を検討する。(知識)
- ▶すべての人が、ステイグマや差別を受けている人を守る責任があることを認識する。(態度)
- ▶包摶、非差別、多様性の重要性を理解する。(態度)
- ▶ステイグマや差別に直面した場合、支援を探し出す。(スキル)
- ▶包摶、非差別、多様性の尊重のために声を上げる。(スキル)

1.4 長期的な責任ある関係と子育て

キーアイデア：

- ・結婚と長期の責任ある関係性には、多くの責任が伴う。

学習者ができるようになること：

- ▶結婚と長期の関係性の主な責任をまとめる。(知識)
- ▶上手くいった結婚や長期の関係性の主な特徴を再認識する。(知識)
- ▶結婚や長期の関係性における愛情、寛容、平等、尊重の重要性を認識する。(態度)

キーアイデア：

- ・人はさまざまな形で親になり、親になることはたくさんのさまざまな責任を伴う。

ITSE 国際セクシュアリティ教育ガイダンスの原文日本語訳 International technical guidance on sexuality education

学習者ができるようになること：

- ▶ 親の責任を列挙する。(知識)
- ▶ 大人が親になりうるさまざまな方法(例:意図的な妊娠と意図しない妊娠、養子縁組、里親、生殖医療の利用、代理出産)を比較する。(知識)
- ▶ 親になるかどうか、なるならいつなるかについて、障がいのある人やHIVと共に生きる人も含めて、それが制限になることなく、誰もが自分で決めるべきだと主張する。(態度)

キーアイデア：

- ・児童婚・早期婚・強制婚(CEFM)、意図せずに親になることは、社会的にも健康的にもネガティブな影響を与える可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ CEFMや意図せずに親になることの社会的・健康的な結果について説明する。(知識)
- ▶ CEFMや意図せずに親になることは有害であることを認識する。(態度)
- ▶ CEFMや意団せずに親になることに不安を感じた場合、支援を探し出す。(スキル)

2 値値観・人権・文化・セクシュアリティ

2.1 値値観とセクシュアリティ

2.1 値値観とセクシュアリティ

キーアイデア：

- ・自分自身の価値観、信念、態度を知り、それらが他者の権利にどのように影響を与えるかを知り、それらを守るためにどう立ち上がるかを知ることが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶セクシュアリティと生殖の健康のさまざまな問題について、自分の個人的な価値観を説明する。(知識)
- ▶個人的な価値観が意思決定や行動にどのように影響するかを例示する。(知識)
- ▶個人的な価値観が他者の権利にどのような影響を与えるかを説明する。(知識)
- ▶さまざまな価値観、信念、態度を尊重し、寛容であることの重要性を認識する。(態度)
- ▶自分の個人的な価値観を守る。(スキル)

2.2 人権とセクシュアリティ

キーアイデア：

- ・すべての人の人権には、性と生殖に関する健康に影響を与える権利が含まれています。

学習者ができるようになること：

- ▶性と生殖に関する健康に影響する人権について説明する。(知識)
- ▶これらの権利に影響する地域や国内の法律について議論する。(知識)
- ▶これらの権利の侵害を認識する。(知識)
- ▶社会の中には、人権侵害の影響を受けやすい人がいることを認識する。(態度)
- ▶性と生殖に関する権利を含め、すべての人の人権への尊重をはっきりと示す。(スキル)

2.3 文化、社会とセクシュアリティ

キーアイデア：

- ・社会的、文化的、宗教的な要因は、社会でどんな性的行動が許容される、あるいは許容されないと考えられるかに影響を与え、これらの要因は時間の経過とともに進化します。

学習者ができるようになること：

- ▶社会的・文化的規範を定義する。(知識)
- ▶社会における性的行動に影響を与える社会的・文化的規範と、それが時間の経過とともにどのように変化するかを調べる。(知識)
- ▶社会的・文化的規範は時間の経過とともに変化する可能性があることを認識する。(態度)
- ▶社会における性的行動に影響を与える社会的・文化的規範に問題意識を持つ。(スキル)

3 ジェンダーの理解

- 3.1 ジェンダーとジェンダー規範の社会構築性
- 3.2 ジェンダー平等、ジェンダーステレオタイプ、ジェンダーバイアス
- 3.3 ジェンダーに基づく暴力

3.1 ジェンダーとジェンダー規範の社会構築性

キーアイデア：

- ・ジェンダー役割やジェンダー規範は人生に影響を与えます。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダー規範がどのようにアイデンティティ、欲望、習慣、行動を形成しているかを確認する。(知識)
- ▶ ジェンダー規範がどのように有害になりうるか、どのように人々の選択や行動に悪影響を及ぼしうるかを調べる。(知識)
- ▶ ジェンダー規範に関する信念は、社会によって作られたものであることを認識する。(態度)
- ▶ ジェンダー役割やジェンダーに基づく期待は変化しうることを認識する。(態度)
- ▶ 家庭や学校、コミュニティにおいて、ジェンダー役割に対してよりポジティブな影響を与えるための行動を日々実践する。(スキル)

キーアイデア：

- ・恋愛関係は、ジェンダー役割やジェンダーステレオタイプによってネガティブな影響を受ける可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダー規範やジェンダーステレオタイプが恋愛関係に与える影響（男らしさと女らしさに関係する両方の規範どちらも）を分析する。(知識)
- ▶ 人間関係における虐待や暴力が、どのようにジェンダー役割やジェンダーステレオタイプと強く結びついているかを例示する。(知識)
- ▶ 人間関係における有害なジェンダー役割やジェンダーステレオタイプの影響を認識する。(態度)
- ▶ 人間関係の中でのジェンダー役割やジェンダーステレオタイプに問題意識を持つ。(スキル)

3.2 ジェンダー平等、ジェンダーステレオタイプ、ジェンダーバイアス

キーアイデア：

- ・ジェンダーステレオタイプやジェンダーバイアスは、男性、女性、そして多様な性的指向とジェンダーアイデンティティを持つ人々をどのように扱うか、また人々の選択に影響を与えます。

学習者ができるようになること：

- ▶ 社会が男性、女性、多様な性的指向やジェンダーアイデンティティを持つ人々をどのように表現しているかを規定する社会規範を再認識する。(知識)
- ▶ ジェンダーバイアスのあらゆる形を例示する。(知識)
- ▶ すべての人を平等に扱うことの重要性を認識する。(態度)
- ▶ ジェンダー規範に従わない人への偏見が、健康を含めた彼らの意思決定の能力に悪影響を及ぼすことを認識する。(知識)
- ▶ ジェンダーバイアスにとらわれず人と接する方法を示すことができる。(スキル)
- ▶ 自分の価値観が自分の信念やジェンダーバイアスにどのように影響を与えるかを考える。(スキル)

キーアイデア：

- ・ジェンダー平等は、性的行動やライフプランに関する平等な意思決定を促進することができます。

学習者ができるようになること：

- ▶性的関係の中でのジェンダー平等の特徴を説明する。(知識)
- ▶ジェンダー役割が性的行動や避妊具の使用、ライフプランの決定にどのように影響するか理解する。(知識)
- ▶ジェンダー役割をより公平にすることが、より健康的な性的関係にどのように貢献できるかを分析する。(知識)
- ▶ジェンダー平等が健康的な性的関係の一部である理由を説明する。(態度)
- ▶ジェンダー平等に基づく関係を築く。(スキル)

3.3 ジェンダーに基づく暴力

キーアイデア：

- ・大人、若者、権威ある立場にある人々によるあらゆる形のジェンダーに基づく暴力は人権侵害です。

学習者ができるようになること：

- ▶親密なパートナーからの暴力やレイプを含め、性的虐待やジェンダーに基づく暴力は、性的欲望をコントロールできないという問題ではなく、権力や支配に関わる犯罪であることを再認識する。(知識)
- ▶ジェンダーに基づく暴力に気づいてそれを減らすための具体的な方策を立てることができる。(知識)
- ▶暴力の傍観者や目撃者は、暴力に介入するための安全な手段を講じることができること、そして彼らもまた暴力の影響を受けると感じるかもしれないことを認識する。(知識)
- ▶ジェンダーに基づく暴力は大人や権威ある立場にいる人々、若者によって行われる可能性があり、それは常に不当な行為であることを認識する。(態度)
- ▶ジェンダーに基づく暴力の予防や、ジェンダーに基づく暴力のサバイバー（被害経験のある人）を支援する、信頼できる大人やサービスへのアプローチ方法を示す。(スキル)

4 暴力と安全確保

4.1 暴力

キーアイデア：

- ・性的虐待、性暴力、親密なパートナー間の暴力、いじめは人権侵害です。

学習者ができるようになること：

- ▶いじめ、心理的暴力、身体的暴力、性的虐待、性暴力、親密なパートナー間の暴力を比較対照する。(知識)
- ▶大人や若者、力のある立場の人による、性的虐待、性暴力、親密なパートナー間の暴力、いじめは、決して被害者が悪いのではなく、常に人権侵害であることを認識する。(態度)
- ▶性的虐待、性暴力、親密なパートナーからの暴力、いじめを通報する方法を示す。(スキル)
- ▶性的虐待、性暴力、親密なパートナー間の暴力、いじめについて、被害者を支援し予防するための信頼できる大人やサービスへのアプローチ方法を示す。(スキル)

4.2 同意、プライバシー、からだの保全

キーアイデア：

- ・誰もが「プライバシー」とからだの保全の権利を持っています。

学習者ができるようになること：

- ▶プライバシーとからだの保全の権利の意味を説明する。(知識)
- ▶プライバシーとからだの保全の権利を誰もが持っていることを認識する。(態度)
- ▶プライバシーとからだの保全の権利について、自分がどのように感じているかを表現する。(スキル)

キーアイデア：

- ・誰もが、性的な行為をするかしないかを自分でコントロールする権利を持っており、パートナーに積極的に自分の意志を伝え、相手の同意を確認すべきです。

学習者ができるようになること：

- ▶同意を定義し、それが性的な意思決定に密接に関わることを説明する。(知識)
- ▶性的同意を伝えること、受け取ることの重要性を認識する。(態度)
- ▶性的行動に関する個人的な境界線について、同意することと同意しないことを表現する。(スキル)

4.3 情報通信技術 (ICTs) の安全な使い方

キーアイデア：

- ・インターネット、携帯電話、ソーシャルメディアは、望まない性的な扱われ方の原因になる可能性があります。

学習者ができるようになること：

ITSE 国際セクシュアリティ教育ガイダンスの原文日本語訳 International technical guidance on sexuality education

- ▶インターネットや携帯電話、ソーシャルメディアがどのように望まない性的な扱われ方の要因となりうるかを説明する。(知識)
- ▶インターネットや携帯電話、ソーシャルメディアで受けた望まない性的な扱われ方に対抗する方法があることを認める。(態度)
- ▶インターネットや携帯電話、ソーシャルメディアを安全に利用するための計画を立て、実践する。(スキル)

キーアイデア：

- ・性的に露骨なメディアや表現は、性的に刺激するもので、有害となる可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶性的に露骨なメディア（ポルノグラフィ）がこれまで普及している理由を分析する。（知識）
- ▶性的に露骨なメディアがどのように有害になりうるか、どこに通報して助けを求めるかをまとめる。（知識）
- ▶未成年者が性的に露骨な表現を送信、受信、購入、所持することが違法となる場合があることを区別する。（知識）
- ▶性的に露骨な表現の共有や管理についての法律を知る重要性を認識する。（態度）
- ▶性的に露骨なメディアの利用について感じることを表現する。（スキル）

5 健康と幸福のためのスキル

5.1 性的行動における規範と仲間の影響

5.2 意思決定

5.3 コミュニケーション、拒否、交渉のスキル

5.4 メディアリテラシーとセクシュアリティ

5.5 援助と支援を見つける

5.1 性的行動における規範と仲間の影響

キーアイデア：

- ・社会規範、ジェンダー規範、仲間の影響力は、性的な意思決定と行動に影響を与える可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダー規範と社会規範を定義する。(知識)
- ▶ ジェンダー規範と社会規範、仲間からの影響力が性的な決定や行動にどのように影響を与えるかを説明する。(知識)
- ▶ 性的な意思決定や行動は、ジェンダー規範や社会規範、仲間の影響力に影響されることを認識する。(態度)
- ▶ お互いのために包摂的であること、支え合うこと、尊重し合うことをみんなで主張するさまざまな方法を示す。(スキル)

キーアイデア：

- ・仲間は性的な意思決定や行動に影響を与えることがあります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 仲間が性的な意思決定や行動に影響を与えるポジティブな方法とネガティブな方法を比較対照する。(知識)

キーアイデア：

- ・性的な意思決定や行動における仲間からのネガティブな影響に抵抗するための方策があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性的な意思決定や行動にネガティブな影響を与えるピアプレッシャーに直面したときに、自己主張するとはどういうことかを説明する。(知識)
- ▶ 性的な意思決定や行動に対する仲間からのネガティブな影響に対抗することを強く志向する。(態度)
- ▶ いじめられている人や、自分が望んでいない性的な意思決定を迫られている人がいた場合には、声を上げて自分の主張を示す。(スキル)

5.2 意思決定

キーアイデア：

- ・性的行動に関する意思決定のプロセスには、起こりうるすべてのポジティブな結果とネガティブな結果を考慮することが含まれます。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性的行動に関するさまざまな意思決定がもたらすポジティブな結果とネガティブな結果を評価する。(知識)
- ▶ 性的行動に関する意思決定が、人々の健康や将来、ライフプランにどのような影響を与えるかを説明する。(知識)
- ▶ 意思決定のプロセスを適用して、性と生殖に関する健康上の懸念に対処する。(スキル)

キーアイデア：

・性的行動について合理的な判断を下すことを困難にする要因があります。

学習者ができるようになること：

- ▶性的行動に関する意思決定に影響を与えるさまざまな感情を明らかにする。(知識)
- ▶性的行動に関する合理的な意思決定に、アルコールや薬物がどのように影響しうるかを説明する。(知識)
- ▶貧困、ジェンダーの不平等、暴力が性的行動に関する意思決定にどのように影響しうるかを説明する。(知識)
- ▶性的行動に関する人々の意思決定に影響する要因が多くあり、その中には自分でコントロールできないものもあることを理解する。(態度)
- ▶性にかかわる意思決定に影響しうる感情を評価し、うまく対処する方法を示す。(スキル)

5.3 コミュニケーション、拒否、交渉のスキル

キーアイデア：

・よいコミュニケーションは、個人、家族、学校、仕事、恋愛の関係において必須です。

学習者ができるようになること：

- ▶個人、家族、学校、仕事、恋愛の関係における効果的なコミュニケーションの利点をあげる。(知識)
- ▶互いに矛盾する言語的／非言語的コミュニケーションの潜在的な意味合いを分析する。(知識)
- ▶恋愛関係にあるパートナーとの交渉を阻むかもしれない障壁（ジェンダー役割やジェンダーに基づいて期待されることを含む）を明らかにする。(知識)
- ▶恋愛関係にあるパートナーとの交渉や拒否のスキルを使う際の自信を示す。(スキル)

5.4 メディアリテラシーとセクシュアリティ

キーアイデア：

・メディアの中には、セクシュアリティや性的関係についての非現実的なイメージを描いているものがあり、それらは私たちのジェンダーや自尊心の認識に影響を与える可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶メディアの中のセクシュアリティや性的関係に関する非現実的なイメージを明らかにし、批評する。(知識)
- ▶これらのイメージがジェンダーステレオタイプをつくりだすことにおける影響を調べる。(知識)
- ▶メディアが美の理想やジェンダーステレオタイプに影響を与えていることを認識する。(態度)
- ▶セクシュアリティや性的関係に関する非現実的なイメージが、ジェンダーや自尊心の認識にどのような影響を与えているかを考える。(スキル)

5.5 援助と支援を見つける

キーアイデア：

・質の高い情報やサービスにアクセスするためには、援助や支援の拠点について、そのサービスや情報源も含め、見きわめることは重要である。

学習者ができるようになること：

- ▶性と生殖に関する健康と権利問題に関する援助や支援の拠点をリストアップする。(知識)
- ▶よい援助や支援の拠点の特徴（秘密やプライバシーを守ることを含む）を説明する。(知識)
- ▶性と生殖に関する健康の支援（例：カウンセリング、性感染症やHIVの検査と治療、現代的避妊法や、性的虐待、レイプ、ドメスティックバイオレンス、ジェンダーに基づく暴力、中絶、中絶後のケア、スティグマ、差別に関するサービス）を受け

ITSE 国際セクシュアリティ教育ガイダンスの原文日本語訳 International technical guidance on sexuality education

ことができる場所があることを理解する。(知識)

▶援助や支援についての信頼性の高い情報源（例：ウェブサイトなど）の特徴を説明する。（知識）

▶援助や支援の拠点を批判的に評価することの重要性を認識する。（態度）

6 人間のからだと発達

6.1 性と生殖の解剖学と生理学

6.2 生殖

6.3 思春期

6.4 ボディイメージ

6.1 性と生殖の解剖学と生理学

キーアイデア：

- ・思春期や妊娠中は、成熟や生殖に関わる多くのプロセスにホルモンが大きな影響を与えます。

学習者ができるようになること：

- ▶胎児の性別は染色体によって決定され、妊娠初期の段階で決定されることを説明する。(知識)
- ▶ホルモンは成長、発達、生殖器官や性機能を調節する役割を果たすことを説明する。(知識)
- ▶ホルモンが思春期や妊娠中において果たす重要な役割を認識できる。(態度)

キーアイデア：

- ・セックス、ジェンダー、生殖への理解、またいつ性的に活発になることが適切かについての理解のしかたは、文化によってさまざまです。

学習者ができるようになること：

- ▶セックス、ジェンダー、生殖に関する生物学的側面と社会的側面を区別する。(知識)
- ▶文化や宗教がセックス、ジェンダー、生殖に対する社会の見方に与える影響を比較対照する。(知識)
- ▶セックス、ジェンダー、生殖について文化的、宗教的、社会的、個人的な見解が異なる可能性があることを認識する。(態度)
- ▶セックス、ジェンダー、生殖についての自分の見かたを振り返り、明確に表現することができる。(スキル)

6.2 生殖

キーアイデア：

- ・生殖機能と性的感情には違いがあり、それらは時間の経過とともに変化することがあります。

学習者ができるようになること：

- ▶妊娠は計画的にすることも、防ぐこともできることを再認識する。(知識)
- ▶生殖機能と性的感情には違いがあることを理解する。(知識)
- ▶男性も女性も、性と生殖に関する機能や欲求は生涯を通じて変化することを認識する。(態度)
- ▶意図しない妊娠をこれからどう防ぐか、計画を立てる。(スキル)

6.3 思春期

キーアイデア：

- ・思春期は、身体的、感情的、社会的、認知的な大きな変化につながる性的成熟の時期であり、思春期を通して、興奮させるものであると同時にストレスを感じるものもありえます。

学習者ができるようになること：

- ▶ 思春期と青年期を区別する。(知識)
- ▶ 思春期は人によって異なる時期に起こり、男子と女子で異なる影響を与えることを再認識する。(知識)
- ▶ 思春期に起こるさまざまなタイプ（例：身体的、感情的、社会的、認知的）の変化の例を評価し、分類する。(知識)
- ▶ これらの変化に関連して、女子と男子の類似点と相違点を比較する。(知識)
- ▶ 思春期は、一部の子どもたち、特にジェンダー・アイデンティティが一般的ジェンダー規範に当てはまらない／当てはめられない、またはトランスジェンダー、インターフェックスの子どもたちにとっては、特に困難な時期であることを認識する。(知識)
- ▶ これらの身体的、感情的、社会的、認知的变化は思春期には一般的なことであると認める。(態度)
- ▶ 思春期の変化を理由に他人をからかったり、辱めたり、ステigmaを与えることは、相手を傷つけ、長期的な精神的影響を与える可能性があることを認識する。(態度)
- ▶ これらの変化にどのように対処するかを示す。(スキル)

6.4 ボディイメージ

キーアイデア：

- ・自分のからだについての感じ方は、その人の健康、セルフイメージ、行動に影響を与えます。

学習者ができるようになること：

- ▶ 自分のからだを気持ちよく感じることの利点について説明する。(知識)
- ▶ 自分のからだの外見が、他の人の自分に対する気持ちや行動にどのような影響を与えるかを説明し、それが女子と男子でどのように異なるかを比較する。(知識)
- ▶ 外見を変えようとする人がよく行うこと（例：ダイエット薬、ステロイド剤、漂白クリームなどの使用）を分析し、それらの行為の危険性を評価する。(知識)
- ▶ 人々に自分の外見を変えたいと思わせる、ジェンダーに基づく美の基準を批判的に評価する。(知識)
- ▶ ボディイメージに関連した、人々を苦しめているさまざまな疾患（例：不安障がい、拒食や過食などの摂食障がい）について説明する。(知識)
- ▶ ボディイメージを変えるために薬物を使用することは有害になりうると認識する。(態度)
- ▶ ボディイメージに悩んでいる人をサポートするサービスへのアクセス方法を示す。(スキル)

7 セクシュアリティと性的行動

7.1 セックス、セクシュアリティ、生涯にわたる性

7.2 性的行動と性的反応

7.1 セックス、セクシュアリティ、生涯にわたる性

キーアイデア：

- 性的な感情、想像、欲望は自然なものであり、生涯を通じて起こるものですが、人はいつもそれらの感情に基づいて行動することを選択しているわけではありません。

学習者ができるようになること：

- ▶セクシュアリティを表現する方法を列挙する。(知識)
- ▶性的な感情や想像、欲望は自然なものであり、恥すべきものではなく、生涯を通じて起こることを述べる。(知識)
- ▶すべての人が性的な感情や想像、欲望を行動に移すことを選択するわけではない理由を説明する。(知識)
- ▶セックスへの興味は年齢とともに変化し、生涯を通じて表現される可能性があると述べる。(知識)
- ▶文化や状況を超えて人がセクシュアリティを表現するさまざまな方法を尊重することの重要性を理解する。(態度)
- ▶性的な感情や想像、欲望に関連した感情を上手く扱う方法を示す。(スキル)

7.2 性的行動と性的反応

キーアイデア：

- 性的反応のサイクルとは、性的刺激に対するからだの生理的な反応のしかたに関するものです。

学習者ができるようになること：

- ▶性的刺激には身体的・心理的な側面があり、人によって反応のしかたやタイミングが異なることを理解する。(知識)
- ▶性的な反応は、病気、ストレス、性的虐待、薬物治療、薬物乱用、トラウマなどの問題によって影響を受ける可能性があることを認識する。(態度)

キーアイデア：

- 社会や文化、世代ごとに性的行動に関する迷信があり、事実を知ることが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶性的行動に関する情報に触れたときに、迷信と事実を区別する。(知識)
- ▶セクシュアリティに関する事実を知ることの重要性を理解する。(態度)
- ▶性的行動に関する迷信に問題意識を持つ。(スキル)

キーアイデア：

- 性的行動について情報に基づいた判断ができることが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶情報に基づいて性的な意思決定をすること（性的に活発になるか、もしなるのなら、いつ、誰とするのかを決める際に、情報と自信を十分に持っていること）が、自分の健康と幸福にとって重要であることを認識する。(態度)
- ▶性的に活発になるかどうかの決定は、人それぞれの個人的なものであり、時間の経過とともに変化する可能性があり、常

ITSE 国際セクシュアリティ教育ガイダンスの原文日本語訳 International technical guidance on sexuality education

に尊重されるべきものであることを認識する。(態度)

▶性的行動について責任ある決断をする。(スキル)

キーアイデア：

・健康や幸福に強い悪影響を及ぼす可能性のある性的行動のリスクを回避したり、最小限に抑えたりするさまざまな方法があります。

学習者ができるようになること：

▶性的行動に伴うリスクを最小限に抑え、自分のライフプランを支えるための実行可能な選択ができるることを説明する。(知識)

▶コンドームやその他の避妊具は、性的行動の意図しない結果（例：HIV、性感染症、妊娠）のリスクを低減することを説明する。(知識)

▶挿入をしない性的行為は、意図しない妊娠のリスクがなく、HIV を含む性感染症のリスクも減り、よろこびのあるものになりうると再認識する。(知識)

▶性的行動に伴うリスクを最小限に抑え、ライフプランを実現するための選択肢があることを認識する。(態度)

▶自分の性的行動について十分な情報に基づいた選択をする。(スキル)

キーアイデア：

・性的快楽と金銭や物品を交換する取引的な性的行為は、健康や幸福を危険にさらす可能性があります。

学習者ができるようになること：

▶取引的な性的行為を定義する。(知識)

▶取引的な性的行為に関連するリスクについて説明する。(知識)

▶金品の取引を伴う親密な関係は、脆弱性を高めうる不平等な力関係を増大させ、より安全なセックスを交渉する力を制限せうることを認識する。(態度)

▶取引的な性的行為を拒否するための積極的なコミュニケーションと断り方のスキルを示す。(スキル)

8 性と生殖に関する健康

- 8.1 妊娠と避妊
- 8.2 HIV/エイズのステigma (恥と罪の意識)、ケア、治療、サポート
- 8.3 HIV を含む性感染症リスクの理解、認識、低減

8.1 妊娠と避妊

キーアイデア：

- ・避妊法によって、成功率、効能、利点、副作用が異なります。

学習者ができるようになること：

- ▶意図しない妊娠を防ぐための効果的な方法とその効果（例：男性用・女性用コンドーム、低用量ピル、（避妊用）注射、（避妊用）インプラント、緊急避妊薬など）を分析する。（知識）
※（避妊用）注射、（避妊用）インプラントは日本では認可されていません。
- ▶意図しない妊娠につながる個人の脆弱性について説明する。（知識）
- ▶正しく一貫して行われれば、性交を控えることが意図しない妊娠を防ぐ効果的な方法であると述べる。（知識）
- ▶性的行動を取る場合、コンドームと現代的避妊法の正しい一貫した使用は、意図しない妊娠を防ぐことができると述べる。（知識）
- ▶コンドームの正しい使い方を説明する。（スキル）
- ▶緊急避妊薬（合法で入手可能な場合）は、避妊具がなかったとき、避妊具の誤用や失敗のとき、性的暴行による妊娠を含め、意図しない妊娠を防ぐことができることを説明する。（知識）
- ▶伝統的な避妊法は現代的避妊法に比べて信頼性が低いが、現代的避妊法がない場合には、伝統的な避妊法は何もしないよりはしたほうがよく、健康の専門家のアドバイスを得て検討することができるとして述べる。（知識）
- ▶不妊手術は永続的な避妊方法であることを述べる。（知識）

キーアイデア：

- ・性的に活発で、避妊具の使用の恩恵を受ける可能性のある若者は、能力、婚姻状況、ジェンダー、ジェンダーアイデンティティ、性的指向に関係なく、大きな障壁なしに避妊具にアクセスできるべきです。

学習者ができるようになること：

- ▶コンドームや他の避妊具がその地域では一般的にどこで入手できるのか、また、若者がそれらを入手するのを妨げたり制限したりする障壁がある場合もあることを分析する。（知識）
- ▶性的に活発な若者が、婚姻状況や性別、ジェンダーを理由に避妊具やコンドームへのアクセスを拒否されることはあってはならないと認識する。（態度）
- ▶避妊具の情報源や供給源にアクセスする様々な方法を示す。（スキル）

キーアイデア：

- ・若すぎる出産や、間隔の短すぎる出産には、健康上のリスクがあります。

学習者ができるようになること：

- ▶若すぎる出産を定義し、それに伴う健康リスクを説明する。（知識）
- ▶出産間隔を空けることのメリットを説明する。（知識）
- ▶妊娠を遅らせること、間隔を空けることの重要性を認識する。（態度）
- ▶妊娠するかしないか、いつ妊娠するかについての選択を表明する。（スキル）

8.2 HIV/エイズのステigma (恥と罪の意識)、ケア、治療、サポート

キーアイデア：

- 適切なケア、尊敬、サポートがあれば、HIVと共に生きる人々は、差別のない十分に豊かな人生を送ることができます。

学習者ができるようになること：

- ▶ HIVの状態を理由にした差別は違法であると結論づける。(知識)
- ▶ 生まれたときからHIVと共に生きている人もいること、治療やサポートがあれば、十分に健康的で豊かな人生を送ることができることを認識する。(態度)

キーアイデア：

- ・HIVと共に生きる人も含め、誰もが、結婚や長期的な責任ある関係を通じて、他者への性的感情や愛情を表現する権利を、他のすべての人と同じように持っているし、それを選択したいならできるべきです。

学習者ができるようになること：

- ▶ HIVと共に生きる人も含め、すべての人が他者への性的感情や愛情を表現する権利を持っている理由の根拠を示す。(知識)
- ▶ HIVとともに生きる人も含め、すべての人の、他者への性的感情や愛情を表現する権利を支持する。(態度)

キーアイデア：

- ・HIVと共に生きる人々によって、あるいは彼らとともに運営される支援団体やプログラムが役に立つことがあります。

学習者ができるようになること：

- ▶ HIVと共に生きる人々によって、あるいは彼らとともに運営される支援団体やプログラムがどのように役立つかを説明し、彼らが提供するサービスについて説明する。(知識)
- ▶ HIVと共に生きる人々によって、あるいは彼らとともに運営される支援団体やプログラムが提供する援助を認識する。(態度)
- ▶ 地域の支援団体やプログラムへのアクセス方法を示す。(スキル)

8.3 HIVを含む性感染症リスクの理解、認識、低減

キーアイデア：

- ・クラミジア、淋病、梅毒、HIV、HPVなどの性感染症は、予防、治療、管理が可能です。

学習者ができるようになること：

- ▶ HIVを含む性感染症のさまざまな感染経路(例：性的行為、妊娠、分娩または母乳育児、ウイルスが混入した血液の輸血、注射器・針・その他鋭利な器具の共有)を説明する。(知識)
- ▶ 挿入を伴う性交をしないことが、性的行為によるHIVやその他の性感染症の予防に最も効果的であることを説明する。(知識)
- ▶ 性的に活発であっても、HIVや性感染症に感染するリスクを減らすための特定の方法があることを説明する。例えば、コンドームの一貫した正しい使用、挿入を伴う性交を避けること、“お互い決まった一人とのみ性的関係を持つこと”の実践、性交する相手の数を減らすこと、同時期に複数の人とパートナーになるのを避けること、性感染症の検査と治療を受けることなど。(知識)
- ▶ HIVや他の性感染症の、感染率が高い特定の環境では、年齢差や世代差のある関係性がHIVへの脆弱性を高める可能性があることを説明する。(知識)
- ▶ より安全なセックスのために交渉し、安全でない性的行為を拒否するさまざまなスキルを示す。(スキル)

▶コンドームを正しく使用するための手順を示す。(スキル)

キーアイデア：

- 性の健康に関するサービスでは、HIV 検査、治療、コンドームの提供などを行うことができます。また、一部のサービスでは PrEP (曝露前予防内服) や PEP (曝露後予防)、VMMC (医学的な男性包皮切除) などを提供し、HIVに対する脆弱性を評価し、必要に応じて検査や治療へのアクセスを支援することができます。

学習者ができるようになること：

- ▶HIV 検査を受けるための保健システムへのアクセス方法や、HIVと共に生きる人々を支援するプログラムを調べる。(知識)
- ▶利用可能な HIV 検査の種類とその実施方法を説明する。(知識)
- ▶VMMC と、それが男性の HIVに対する脆弱性をどのように減らすことができるかについて説明する。(知識)
- ▶地域で入手可能であれば、HIVに曝される可能性がある前後に HIVに感染する可能性を減らす方法としての PrEP と PEP とはなにか明らかにする。(知識)
- ▶すべての人には、自発的で、十分な情報をもとにプライバシーを守られながら検査を受ける権利があり、自分の HIV の状態の開示を要求されるべきではないことを述べる。(知識)
- ▶HIVに対する脆弱性を評価するための検査の重要性を認識し、必要に応じて治療を受けられるようにすることの重要性を認識する。(態度)
- ▶検査を受けたいと思っている友人をサポートする方法を示す。(スキル)